

内定式感想文

学校： 熊本大学 学部・研究科： 理学部理学科

職種： MR 氏名： 浦川七海

これまでの面接や懇親会で人事の方や同僚と交流する機会は多くいただいていたのですが対面で会って顔を見て話すということはなかったため今回の内定式では非常に緊張しました。しかし、面接を抜きにして社会人の方のお話を聞く機会は非常に少ないため勉強になることが多かったです。その中で「習慣」についての話がとても印象に残りました。私は読書をする習慣や大学の勉強以外で何か勉強をすることはないのですが今回お話を聞く中で社会人になるとさらに習慣的に行うことは仕事とプライベートを充実させることに必要不可欠であるとわかりました。そのため残りの学生生活では何か小さなことでも毎日習慣化することを実践していこうと思います。

MR に関して私は MR を通して営業を得た利益で間接的に新薬の開発に関わりたいと思いこの業種や貴社に入社したいと考えていたため貴社や MR の説明を聞いていた際に似た内容の話をされていてより一層これからの気持ちが前向きになりました。優秀な MR になるためにまず初めに乗り越えないといけない壁は MR 認定試験ですが薬学部出身の方とは違い薬に関する知識はないので今回の研修の説明を聞いて安心する部分はありませんでしたがやはりまだまだ不安なことが多いです。しかし、今回の内定式で同期の仲間とより一層仲を深めることができたので同期の仲間たちと切磋琢磨しながら優秀な MR を目指したいと思います。

最後に内定式から感じた今後の抱負を述べます。社会人としてスタートできることを喜ぶとともに気持ちを引き締めます。貴社の MR 活動に関して自身の持ち前の明るさを営業に生かして 1 日も早く戦力の一端になれるよう努力し続けます。その一方で自身が未熟である事を理解し、上司の方々のご指導ご助言を謙虚に受け止めて会社の一員として成長していきたいです。